

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

令和3年11月15日公表

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		スペースが広々としているため、学習スペースと活動スペースを棚やパーテーションで区切っており、環境的に良いと思います。	事業所内は広々としており、利用定員に対して快適な広さを確保し、広い空間を活かして、学習、遊び、読書スペース、保護者様とお話をするスペースなど、目的に応じて使いやすい環境になるよう、仕切りを設けたり、パーテーションを使用したりと工夫をしております。
	2 職員の配置数は適切である	○		職員は法令の定めた基準を満たしており、職員全員が有資格者で、児童指導員、保育士、OT、PTで構成されています。	法令の基準を満たした人数で対応しています。日々の利用人数によって、人員確保や人員配置などを臨機応変に対応できるように努めています。
	3 事業所の設備等について、バリアフリーの配慮が適切になされている	○		事業所がビルの2階にあるために、階段昇降が必要となっております。しかし、2階の室内、トイレはバリアフリーとなっており、ほとんどがバリアフリー空間となっております。	事業所は2階に位置しているため階段の昇降できる方のみのご利用だけに限られるところは課題です。こういった事業所の環境についてはご利用のお問い合わせの際に、必ずお伝えするようにしています。事業所内は写真やイラストを用いて児童に分かりやすい表示になるよう心がけており、過ごしやすい環境作りを努めています。
	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		シフト制であるため、参加できない職員もいますが、朝礼を毎朝行うようにしています。朝礼日誌を作成しているため、それを基に、情報を共有、把握できるようにしています。	今後も全職員の共通理解と共に支援士に対しての共有、朝礼日誌や個別支援会議を通して、療育や支援の方向性を統一できるように努めてまいります。
業務改善	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		今回が初めての評価となりますが、保護者様からのご意見を把握し、全職員共通理解のもと今後活かしていきたいと思っています。	今後も保護者様から頂いたアンケートをもとに、お褒めの言葉は職員のモチベーションの糧として、ご意見は真摯に受け止め、業務改善への課題としてよりよい支援へと繋げていきたいと思っています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		評価の結果は、COMPASS 発達支援センターの Web サイトにて公開しております。	今後も、毎年 Web 上で自己評価表の公開を行ってまいります。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		今年度は本社で企画制作された研修動画を朝礼などの時間を使い、視聴し資質の向上に努めております。	今後も積極的に研修会に参加し、研修会で得た情報を全職員へと啓発していき、事業所内の資質向上を図っていきたく思います。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		利用開始前や定期的に、保護者様に説明や確認を行い、課題を把握したうえで、児童の状況や、保護者様のニーズ等、把握した情報を支援計画に反映させております。	今後も、児童の気持ちに寄り添い、保護者様のご意向に耳を傾けながら支援計画を作成してまいります。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントツールを使用しております。また、モニタリング時には、統一されたチェックシートで状況を把握し、保護者様の意向の確認も行っております。	今後も継続して保護者様のご意向に沿って、適切に行ってまいります。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		個別支援会議を通して、職員の一人ひとりが、それぞれの専門職の立場から意見を出し合い、支援の方向性を決め、活動内容を吟味しています。	今後も引き続き、職員間の情報交換や情報共有を心がけ、立案を行ってまいります。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動内容が固定しないよう、全職員のアイデアや支援方法などの意見交換の時間を大切にしています。その時間を通して、活動の内容や進め方に偏りが生じないよう工夫しています。	今後も、職員間で意見を出し合い、児童に応じた立案を行ってまいります。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇には、特に苦手科目の復習や新学期の準備、生活リズムに配慮しています。	今後も、長期休暇時の利用時間に応じて、臨機応変なプログラムや療育内容を提供できるよう、努めてまいります。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別活動と集団活動を、一人ひとりの特性、発達段階、年齢、保護者様のニーズに応じて、計画的に組み込んでおります。	今後も同様に、それぞれの活動内容を組み合わせ、支援計画の作成を行ってまいります。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝、朝礼を行い児童の様子や状況を伝達し、支援内容などの確認などを行っております。	今後もミーティングを継続し、当日の流れ、支援内容などの確認を行い情報共有を努めてまいります。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		勤務がシフト制のため、支援終了後の全職員での打ち合わせは行っていません。次の日の支援前には必ず打ち合わせを行い、共通理解を図っています。	今後も打ち合わせを行い、どんな小さな事でも意見を出し合いながら、共通理解を努めてまいります。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の療育内容や児童の様子は必ず記録しております。その記録をもとに支援の改善を図ったり、職員間で情報交換を行っております。	日々の療育内容や児童の様子は必ず記録しております。その記録をもとに支援の改善を図ったり、職員間で情報交換をおこなっております。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一度必ず、モニタリングを行い、毎日の送迎時にも現状の把握を行い支援計画の見直しをおこなっております。	今後も同様に、モニタリング時には、職員全員で児童の状況・課題を確認して支援計画の見直しをおこなってまいります。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		「ガイドライン」の支援内容を基に、保護者様のご意向や児童の反応に合わせて、支援内容を考え、提供しています。	今後も継続して、支援内容が児童に合っているか、保護者様の意向に寄り添っているかを吟味しながら、提供してまいります。	
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもが参加し、最もふさわしい支援が提供されている	○		児童発達支援管理責任者だけでなく一人の意見に偏らないよう、対象児童の状況を理解し、説明できる職員と一緒に参加できるように努めています。	引き続き、積極的に会議に参加し、情報交換を行ってまいります。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		送迎時に、小まめに様子を伝え合うようにしており、情報共有に努めています。学校行事や時間割のコピーを受け取ったり、担任の先生とやり取りをしたりなど対応を行っております。	今後も保育園や学校との情報交換を基に連携を取りながら、共通理解を図りたいと思います。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		現在医療的ケアが必要な対象となる児童の受け入れはありません。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となることがあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		相談支援事業所や保護者様との連絡をとりながら、情報共有ができるように努めています。	今後も、情報共有を継続しておこない児童の課題に寄り添いながら、連携を深めてまいります。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		現在までに該当する児童がいないため、情報提供に至っておりません。	現在は該当する児童がおらず、行ったことはありません。しかし今後、該当する児童があった場合は、関係連携機関と連携を図り、より良い支援へと繋がっていきたく努めてまいります。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要に応じて電話連絡は行いますが、今年度に関してはコロナ禍ということもあり、各専門機関と連携しての情報交換を行っていません。	コロナ収束後は、積極的に連携を取り合い研修や助言を受け、また他事業所との繋がりを大切にしております。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		本年度はコロナ禍でもあったため、放課後児童クラブや児童館との交流は行えていませんが、個々で障がいのない子どもと交流があると考えております。	現在はコロナ禍であり、事業所発信の交流会の開催は大変難しいため、今後保護者様のご意向に添いながら、検討してまいります。
	27 (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	○		今年度は、コロナ禍のため、会議等への参加の機会はありませんでした。	今後、協議会が開催される場合は積極的に参加し、児童への支援に繋がっていきたく努めてまいります。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎時に活動の様子をお伝えし、ご家庭や学校の様子等についてお話しいただき、児童の発達状況や課題について共通理解を図っています。	児童の様子や療育内容は日々の連絡帳に記載しております。また、送迎時にはできるだけその日の児童の様子をお伝えするよう心がけ、保護者様との共通理解に努めてまいります。
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者様から児童についてのお悩みや相談を受けた際には、丁寧に助言、アドバイス等を行っております。	今後も継続して保護者様に寄り添いわかりやすい言葉で助言やアドバイスを行ってまいります。
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明を行います。契約後にご不明な点があれば、さらにわかりやすい言葉を使い納得されるまでご説明するよう心がけています。	今後も、保護者様に安心してご利用をしていただけるよう、丁寧に説明を行ってまいります。
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		連絡帳でのやり取りや送迎時の機会を通して、保護者様からのご相談やお悩み等を丁寧に聞き、助言やアドバイスをさせていただきます。お困りごとは、職員間で共通理解を図り、保護者様が安心してご利用いただけるような環境づくりに努めております。	今後も継続して保護者様からの相談やお悩み等を聞き、安心してご利用いただけるよう配慮してまいります。
	32 父母会の開催や活動の支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		コロナ感染症予防のため、今年度は父母会を開催することはできませんでした。	保護者会等の開催についてはコロナ収束後は、保護者様のご意向に沿いながら検討してまいります。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		保護者様からのご相談や申し入れに対しては迅速に対応しております。全職員が共通理解に努め、保護者様や児童に安心してご利用いただける環境づくりを目指しております。	今後も保護者様からのお申し入れ、ご相談やお悩み等をお聞きし、適切に対応し、安心してご利用いただけるよう配慮してまいります。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログや事業所だよりは職員間で意見を出し合い作成しており、日頃の様子などを定期的に当事業所の様子を発信しております。	今後も定期的な情報発信を行ってまいります。また保護者様に伝わりやすいように工夫した内容にしていこう努めてまいります。
	35 個人情報に十分注意している	○		個人情報、鍵付きの書庫に管理を行い、書類等を破棄する場合にはシュレッダーをするなど、全職員が常に細心の注意をおこなっております。	今後も継続して個人情報の取り扱いには、十分注意してまいります。
	36 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		常に意思疎通には配慮し、主に連絡のやりとりには連絡帳を使い、送迎時にはできるだけわかりやすい言葉を使いより詳しい内容をお伝えしております。	意思の疎通や情報伝達、共有に努めてまいります。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		今年度は地域住民の方たちを招待する企画運営はできておりません。	現在コロナ感染症予防のため行っておりませんが、コロナ収束後は、保護者様のご意向に添いながら検討してまいります。
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		全職員共通理解のもと、事業所にマニュアルを設置しております。いかなる状況でも全職員が対応できるように訓練をおこない対応に努めています。	今後も継続してマニュアルに添って訓練を行い、緊急時には全職員が対応できるように努めてまいります。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		児童の安全を第一に対策を行い、全職員共通理解のもと訓練を行っております。	今後も継続して訓練を行い、緊急時には全職員が対応できるように努めてまいります。
非常時の対応	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止のため、定期的に児童への対応、様子などを話し合い、全職員が周知徹底に努めています。	今後は社内・社外関係者研修などがあれば、積極的に参加して参りたいと思います。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命又は身体を保護するために、やむを得ず身体拘束を行う場合はあらかじめ文書により保護者様の同意を得ております。	今後も原則として身体拘束は行わない基本姿勢を守り、やむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ文書により保護者様からの同意を得て個別支援計画に記載してまいります。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーについては、初回アセスメントで必ず聞き取りを行い、全職員共通理解と共に定期的に情報確認を行っております。	今後も継続して保護者様からの情報を頂き、全職員で共通理解に努めてまいります。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例集は、再発防止に努めています。	今後もヒヤリハットを話し合い共有し、全職員で改善点などを話し合い共通理解に努めてまいります。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。